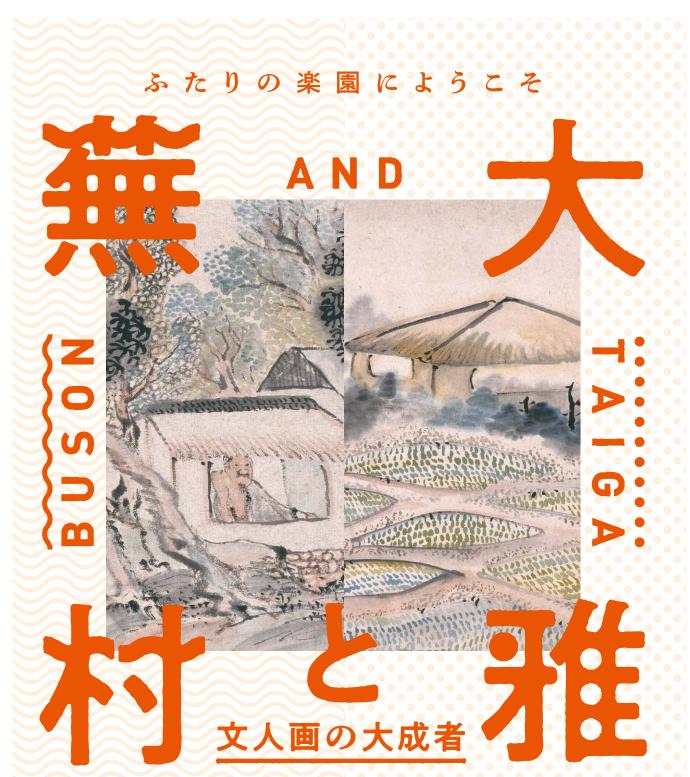
名古屋市博物館



特別展 大雅と蕪村 文人画の大成者 TAIGA AND BUSON

休館日 | 毎週月曜日(祝休日の場合は翌平日)、第4火曜日、年末年始

※12/6[月]、12/13[月]、12/20[月]、12/27[月]~1/3[月]、1/11[火]、1/17[月]、1/24[月]、1/25[火]

開館時間 9時30分~17時(入場は16時30分まで)

名古屋市博物館 Nagoya City Museum

主催/名古屋市博物館、中日新聞社、日本経済新聞社、テレビ愛知 助成/公益帰国法人花王芸術・科学財団 協力/文化財活用センター 🛞 文 💃 🔭



与謝蕪村「十宜図」より「宜夏図」(部分)川端康成記念会蔵 / 池大雅 「十便図」より「課農便図」(部分)川端康成記念会蔵

江戸時代の中頃に活躍した池大雅 (1723~76) と与謝蕪村 (1716~83) は、 日本における文人画の大成者として知られます。その2人が競演したこと で名高い国宝の『十便十宜図』(1771 年、川端康成記念会蔵)は、かつて 鳴海宿(現名古屋市緑区)の豪商・下郷学海(1742~90)が所蔵していました。 本展覧会は、『十便十宜図』誕生から250年を記念して、名古屋の地で両 者による文人画の名品を展示します。また、関連資料や名古屋ゆかりの画 家の作品を交えながら、両者と当地の関係を探っていきます。中国発祥の



いけのたいが

文人画を、大雅と蕪村はどのようにアレンジして独自の画風を作りあげた

のでしょうか。個性を比べながら、それぞれの魅力をお楽しみください。

池大雅『十便図』より「課農便図」 川端康成記念会蔵 当該場面の展示期間:12/9~12/14



与謝蕪村『十宜図』より「宜夏図」 川端康成記念会蔵 当該場面の展示期間:12/9~12/14

開催概要

称 | 特別展「大雅と蕪村-文人画の大成者 | 名

期 | 2021年12月4日(土)~2022年1月30日(日)

開館時間 | 9 時 30 分~ 17 時 (入場は 16 時 30 分まで)

休 館 日 | 毎週月曜日(祝休日の場合は翌平日)、第4火曜日、年末年始

※12/6[月]、12/13[月]、12/20[月]、12/27[月]~1/3[月]、1/11[火]、1/17[月]、1/24[月]、1/25[火]

観 覧 料 | 一般 1,400 (1,200) 円 高大生 900 (700) 円 小中生 500 (300) 円

※カッコ内は前売および 20 名以上の団体料金。 ※高大生・中学生は学生証等を提示してください。 ※本展の前売 券は 2021 年 12 月 3 日 (金) まで、名古屋市博物館、中日新聞販売店、チケットぴあ (P コード 685-802)、ローソンチケッ ト(Lコード 42633)、セブンチケット(セブンコード 091-163)、イープラス、Boo-Woo チケット等で販売します。 ※名古屋市交通局の一日乗車券・ドニチエコきっぷを利用し ※会期中は当日料金にて名古屋市博物館で販売します。 てご来館の方は当日料金より 100 円割引いたします。 ※障害のある方は手帳の提示、難病患者の方は受給者証の提示 により、本人と介護者2名まで当日料金の半額になります。 ※障害者等割引観覧券は名古屋市博物館(会期中のみ)、ローソンチケット(前売のみ)で販売します。

÷ 催|名古屋市博物館、中日新聞社、日本経済新聞社、テレビ愛知

助 成|公益財団法人 花王 芸術・科学財団

◎文化庁



協 カー文化財活用センター

令和3年度地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業

※新型コロナウイルス感染症対策のため、会場の混雑状況等に応じて入場を制限する場合があります。また、関連イベ ントを含め展覧会の内容・実施の有無については、今後変更する場合があります。最新情報は名古屋市博物館ウェブサ イトまたは SNS にてご確認ください。感染症対策へのご理解・ご協力をお願いします。

名古屋市博物館

見どころ①

文人画とは中国発祥の絵画ジャンルで、文人(学問や詩文に優れた知識人)が余技的に描いた絵画のことです。職業画家による手の込んだ作品に対して、精神性を重んじる点に特徴がありました。これだけ聞くと、頭でっかちで造形的魅力に乏しいジャンルと思うかも知れません。しかしながら、江戸時代以降に文人画を描き始めた日本では、技術的に優れ、中国にも例の無い革新的なスタイルの作品が次々と登場します。本展覧会では、日本の文人画における代表的存在の池大雅と与謝蕪村を取り上げ、両者の名品を紹介することで、文人画の魅力をお伝えします。キラキラと光あふれる世界に文人の理想を託した池大雅。抒情的な風景に文人の詩的世界を重ね合わせた与謝蕪村。2人の名品を通じて、文人画の面白さをお伝えします。

文人画の魅力



【重文】池大雅「瀟湘勝概図屏風」 個人蔵 展示期間:1/4~1/30



【国宝】与謝蕪村「夜色楼台図」 個人蔵 展示期間:1/18~1/30

名古屋市博物館

見どころ②

同時代に文人画を志した池大雅と与謝蕪村ですが、意外にも交流はほとんどありませんでした。そんな両者が同じテーマに取り組み、腕を競った作品が国宝『十便十宜図』(川端康成記念会蔵)です。中国の文人が自らの別荘を主題にした詩を絵画化したもので、10個の便利さを詠う「十便」を大雅、季節や天候によって移り変わる10個の宜しき光景を詠んだ「十宜」を蕪村が担場ではました。空前のライバル対決となった本作の注文主は、鳴海宿り、名古屋市緑区)の豪商・下郷学海とされています。地方の宿場町の商人が、京都の大雅と蕪村にどうやって注文をしたのか、なぜこの名作を生み出すことができたのか。本展覧会は、『十便十宜図』の制作背景に着目することで、都の画家と地方との結びつき、地方の文化的豊かさを紹介します。名古屋ならではの「大雅と蕪村」展をお楽しみください。

日本美術史地方から見た



「下郷学海肖像」個人蔵 全期間展示



池大雅『十便図』より「課農便図」 川端康成記念会蔵 当該場面の展示期間: 12/9~12/14



与謝蕪村『十宜図』より「宜夏図」 川端康成記念会蔵 当該場面の展示期間:12/9~12/14

※『十便図』『十宜図』はそれぞれ1ページにつき1図が掲載されたアルバムです。 会期中、適宜ページ替えをします。



与謝蕪村「井上士朗・加藤暁台宛書簡」(部分)名古屋市博物館蔵 全期間展示

名古屋市博物館

開連イベント

関連イベントは、**名古屋市電子申請サービス** (https://www.e-shinsei.city.nagoya.jp) からお申し込みくだ さい。募集開始はすべて11月2日(火)からです。先着順にて受付、定員に達し次第終了します。またキャ ンセル待ちの受付はいたしません。

※障害等により電子申請サービスでの申し込みが難しい場合は名古屋市博物館までご相談ください。取得する個人情報は本事業に 関する連絡・集計に使います。また、感染症対策のため、保健所等に提供する場合があります。

※手話通訳・要約筆記など特別なサポートを必要とする方は、当日の2週間前までに名古屋市博物館までご相談ください。

▶ 記念講演会「大雅 対 蕪村―『十便十宜図』とその後」

- 時 | 12月4日(土)13時30分~15時(開場13時)
- 師 | 佐藤康宏氏(東京大学名誉教授)
- 会 場 | 名古屋市博物館 地下 1 階 講堂
- 定 員 | 100名

※聴講は無料ですが、本展の観覧券(観覧済み半券可)が必要です。

◆ 展示説明会「尾張名古屋と大雅・蕪村 |

- 時 | 12月25日(土)13時30分~15時(開場13時)
- 師 | 横尾拓真(当館学芸員)
- 場 | 名古屋市博物館 地下 1 階 講堂
- 員 | 100名

※聴講は無料です。本展の観覧券は必要ありません。

◆ ワークショップ「『十便十宜図』を模写しよう」

『十便十宜図』から「灌園便図」「宜冬図」を取り上げ、日本画の画材を使用して模写に挑戦します。 制作を通じて、『十便十宜図』の魅力をより深く味わいましょう。

- 時 | 12月19日(日)10時~12時、14時~16時の2回
- 師 | 阪野智啓氏(愛知県立芸術大学准教授) 講
- 場 | 名古屋市博物館 1階 展示説明室
- 定 員 | 各回30名

※参加は無料ですが、本展の観覧券(観覧済み半券可)が必要です。また小学生以下の方は保護者の同伴が必要です。

開催館情報



名古屋市博物館

Nagoya City Museum

〒467-0806 名古屋市瑞穂区瑞穂通 1-27-1



TEL: 052-853-2655 FAX: 052-853-3636 http://www.museum.city.nagoya.jp/

名古屋駅から地下鉄桜通線で17分、桜山駅下車、4番出口から 南へ 150m、エレベーターご利用の方は 3 番出口から南へ 400m

名古屋市博物館

【紹介文例】

本展に関わる記事構成は自由です。以下の紹介文は参考程度にご活用ください。

150字原稿

江戸時代に活躍した文人画家・池大雅と与謝蕪村の名品を紹介し、個性あふれる文人画の魅力に迫ります。(48字)

2100字原稿

江戸時代の中頃に活躍した文人画家・池大雅(1723 ~ 76)と与謝蕪村(1716 ~ 83)。本展覧会は、両者が競演したことで名高い国宝『十便十宜図』(川端康成記念会蔵)を中心に、大雅と蕪村による文人画の名品を紹介します。(100字)

③150字原稿

江戸時代の中頃に活躍した文人画家・池大雅(1723 ~ 76)と与謝蕪村(1716 ~ 83)。その2人が競演した国宝『十便十宜図』(川端康成記念会蔵)は、かつて鳴海宿(現名古屋市緑区)の豪商が所蔵していました。本展覧会は、『十便十宜図』誕生から250年を記念して、名古屋の地で大雅と蕪村による文人画の名品を紹介します。(148字)

4200字原稿

江戸時代の中頃に活躍した文人画家・池大雅(1723~ 76)と与謝蕪村(1716~ 83)。その2人が競演したことで名高い国宝『十便十宜図』(明和8年制作、川端康成記念会蔵)は、かつて鳴海宿(現名古屋市緑区)の豪商・下郷学海(1742~90)が所蔵していました。本展覧会は、『十便十宜図』誕生から250年を記念して、名古屋の地で大雅と蕪村による文人画の名品を紹介します。個性あふれる2人の魅力を比べながらご覧ください。(195字)

⑤ 2 5 0 字原稿

江戸時代の中頃に活躍した文人画家・池大雅(1723 ~ 76)と与謝蕪村(1716 ~ 83)。その2人が競演したことで名高い国宝『十便十宜図』(明和8年制作、川端康成記念会蔵)は、かつて鳴海宿(現名古屋市緑区)の豪商・下郷学海(1742 ~ 90)が所蔵していました。本展覧会は、『十便十宜図』誕生から250年を記念して、名古屋の地で両者による文人画の名品を展示します。また、関連資料や名古屋ゆかりの画家の作品を交えながら、両者と当地の関係を探っていきます。大雅と蕪村、2人の個性を比べながら、それぞれの魅力をお楽しみください。(247字)

いけのたいが

6300字原稿

江戸中期に活躍した地大雅(1723~76)と与謝蕪村(1716~83)は、日本における文人画家の大成者として知られます。その2人が競演したことで名高い国宝『十便十宜図』(明和8年、川端康成記念会蔵)は、かつて鳴海宿(現名古屋市緑区)の豪商・下郷学海(1742~90)が所蔵していました。本展覧会は、『十便十宜図』誕生から250年を記念して、名古屋の地で両者による文人画の名品を展示します。また、関連資料や名古屋ゆかりの画家の作品を交えながら、両者と当地の関係を探っていきます。中国発祥の文人画を、大雅と蕪村はどのようにアレンジして独自の画風を作りあげたのでしょうか。個性を比べながら、それぞれの魅力をお楽しみください。(297字)

特別展「大雅と蕪村」 広報用作品画像・チケット申込書

FAX: (052) 853-8400 またはメール: ncm-gaku@juno.ocn.ne.jp までお送りください。

- ※広報用画像の使用は、特別展「大雅と蕪村」を紹介する場合に限ります。展覧会終了後の広報画像の使用、 また二次利用は固くお断りします。
- ※広報用画像を紹介する場合は、キャプションとして下記のとおり作者名・作品名・所蔵先・展示期間を必ず 記載してください。また展覧会情報(展覧会名・会期・会場)も併せてご記載願います。
- ※広報用画像は全図で使用してください。トリミング、変形、部分使用、文字乗せはできません。
- ※掲載記事につきましては、基本情報確認のため、原稿あるいは校正刷の段階で下記お問い合わせ先まで お 送りください。記事校正のご返答にお時間をいただく場合がございます。期間に余裕を持ってご提出ください。

貴社名	媒体名	□紙 □Web □放送
ご住所 (〒)		
ご担当者名	所管部署名 	
TEL	FAX	
e-mail		
※ご記入いただきました個人情報は、名古のご案内に使用します。許可なく第三者	屋市博物館より本展覧会に関する情報発信や に開示することはありません。	·連絡などが必要な場合、および今後の催事
ご掲載・放映の予定日が決まっている	場合はお知らせください。	年 月 日
作品画像を1点以上掲載し本展をご紹	介いただける場合、読者向けチケット((5組 10 名分まで)を提供します。
	□希望する	且 名分 □希望しない
※原則として掲載紙(Web の場合は掲載7	プドレス通知のメール)が広報担当に到着し、	確認してから発送いたします。
希望する画像の□に√してください。	(下記に加え別の作品画像をご希望の場	合はご連絡ください。)
1 □ 2 □	3 □	4 🗆
	池大雅「瀟湘勝概図屛風」個人蔵 展示期間: 1/4 ~ 1/30	与謝蕪村「夜色楼台図」個人蔵展示期間: 1/18~1/30

【お問い合わせ先】 名古屋市博物館 学芸課 特別展「大雅と蕪村」広報担当 石川、森 ※展覧会内容に関するお問い合わせは、学芸課 横尾、藤田までお願いします。

池大雅『十便図』より

当該場面の展示期間:

「課農便図」 川端康成記念会蔵

 $12/9 \sim 12/14$

与謝蕪村『十宜図』よ り「宜夏図」

当該場面の展示期間:

川端康成記念会蔵

 $12/9 \sim 12/14$

〒467-0806 愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂通 1-27-1

TEL: (052) 853-2655 FAX: (052) 853-8400 e-mail: ncm-gaku@juno.ocn.ne.jp